

2015年度 第2回トライアル委員会 議事録ダイジェスト

開催日： 2015年11月20日（金） 午前10時30分～午後16時30分

開催場所： 東京・築地・MFJ会議室（東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F）

1 前回議事録の確認について

前回議事録が提出され承認された。

2 2015開催状況報告について

事務局より主要競技会開催状況表が提出され承認された。また当年度全日本後半戦第4戦北海道大会以降の審査委員長報告がなされた。

各大会の感想

ドーピングのあり方を選手にもっと啓蒙した方が良い。

公式通知にもドーピングの内容掲載した方が良い。

全日本レディース開催時：医務室の目隠し対策を主催者に対し要望。

難易度表は必ず表示してほしい。

神経戦が年間に1大会はあったほうが良い。（観客には好印象ではないか…最後まで誰が勝つかわからないレースがあった方が面白い。）

SUGOの競技エリアには簡易トイレを設置してほしい。

※その他 四国地区 TRGCについて

2018年度 第31回を四国で開催準備（予定）

3 2015年全日本ランキングについて

事務局より当年度全日本ランキングおよび昇格者が報告され承認された。

なお全日本クラス上位1位～3位は12月19日、東京日経ホールにて開催されるMFJランキング認定表彰式で表彰されることが合わせて報告された。

4 2016年主要競技会カレンダーについて

2016年度主要競技会スケジュールが報告され、承認された。

尚、2016年度から開催されるレディースクラスは全戦開催が決定した。

3/13	第1戦	関東	真壁	※
4/17	第2戦	近畿	名阪	※
5/15	第3戦	九州	矢谷溪谷	※

6/12 第4戦 中国 鳥取 HIROSP ※
7/17 第5戦 北海道 わっさむ ※
10/9 第6戦 中部 キョウセイ DL ※
10/30 第7戦 東北 SUGO ※
4/23-24 世界 GP ツインリンクもてぎ
9/10-11 トライアル・ナシオン ISOLA2000
11/13 TRGC 湯浅トライアルパーク

※印 2016 全日本レディースクラス開催。

第7戦の東北大会について

・MFJ 東北と SUGO の共同主催となった。

その他全日本に関するご意見について

- ・ 今後は観客数が増える開催場所や全体的な開催スケジュールの検討が必要である。
- ・ 同地区等の別種目の同日開催は避けてもらうなどの配慮が必要である。
- ・ 来年から開催されるレディース全日本の PR をするべき。写真などプログラムにも掲載等 他第1戦関東大会でスーパークラスおよびレディース集合写真を撮る（予定）
- ・ 東京、大阪 MC ショウでの PR、デモ等の検討。
- ・ 実験的に名阪大会の前に新聞社等キャラバンを行うことを検討しては？

5 デ・ナシオン日本チーム参戦報告について

1、2015年の参戦報告

事務局より2015年度の参戦結果が報告された。

◆開催日 2015年9月20日 ◆開催国：スペイン

◆順位 日本チーム 第3位 獲得

◆選手 藤波貴久選手 小川友幸選手 小川毅士選手 柴田 暁選手

また本年の参戦について日本代表監督を務めた小谷委員より報告された。

小谷監督

成績は実情のベストであった。メーカーなどの協力もあり、環境的には選手にとって大変良かった。すべてがうまくいった体制であった。

日本チームマネージャー 西 TR 委員長

継続的に参戦する必要がある。

チームジャパンとして活動できるよう検討している。

車両メーカー・用品メーカーなどにも協力要請をする。

結論

2016年トライアル・デナシオン日本チーム参戦（案）を MFJ 中央スポーツ委員会に上程することとなった。

- ◆目的 世界の競技レベルの高さを体感し日本国内トライアルの競技レベルの向上を目指し、世界に通用するライダーを育成するとともに、トライアル競技の認知度を上げ競技者及びファンの拡大につなげることを目的とする。
- ◆効果 日本人ライダーの参戦を広く広報し、より多くの方々にトライアル競技の認知度を上げこれをもってTR競技の普及につなげる。

6 2016年度国内競技規則変更(案)について

1、レディースクラス競技規則について

2016年度適用される全日本特別規則にレディース追加規則(案)について説明され承認された。尚ポイントについては、1台の参加でも20ポイントが加算される。

2、ペナルティーについて

西委員長より以下ペナルティー規則についての改定案が説明され以下のとおり承認された。

1 1 ペナルティー

1 1 - 2 - 3 - 2

セクショントライ中に、ライダーとイグニッションキルスイッチのストラップが 接続されていなかった。或いは、接続が外れてしまった。

(参考 2015運用規定)

◆以下状況の場合は「失敗5点の判定」とします。

- ・セクションイン(フロントホイールスピンドルがイン表示を越えた)時にストラップを接続していなかった。
- ・セクショントライ中にライダー身体接続部分からストラップが外れた。
例:手首・胴体等から外れてしまった。
- ・セクショントライ中にストラップが切れた。(接続切断)
- ・セクショントライ中にマグネット接続部分等が外れた(エンジンストラップ)。※タイヤのみでのスタンディング状態でも失敗とみなす。

◎1 1 - 2 - 3 - 1 1 ライダー又は車両・・・

(車両又はライダーが干渉して・・・)

↓

(車両又はライダーが **直接** 干渉して・・・)

◎1 1 - 2 - 3 - 1 4 車両のフロントホイール・・・上面を越えて・・・

↓

・・・上面を **完全** に越えて・・・

テープの巻き方等には十分注意すること。

1 1 - 1 タイムペナルティー

◎付則 1 9 1 1 ペナルティー

- ・ 1 1 - 1 - 2 スタート遅れ 1 0 分を越えた 失格

◎付則 2 0 1 3 ペナルティー

- ・ 1 3 - 1 - 1 スタート 1 0 分以上の遅れは失格
- ・ 1 3 - 1 - 2 第一ラップ 1 0 分以上の遅れは失格
- ・ 1 3 - 1 - 3 最終ラップ 1 0 分以上の遅れは失格

※全て「1 0 分を越えた」に統一 したい。

1 0 分 0 1 秒より失格となる。

3、音量測定図について

西委員長より音量測定時に新たに提案された図面について説明され承認された。

4、環境マットの使用について

各大会でガソリン、液体をこぼすこととなるため、

オイル汚れ等を防止するために環境マットの使用を推奨することとなった。

(マットは横 1 m・縦 1. 6 m 以上・吸収性のあるもの)

整備、給油等は必ずマット上で行ってください。」

※ (全クラス適用)

※ 2 0 1 6 年は推奨・公式通知 NO 1 に必ず入れる。

※ 2 0 1 7 年義務化 (予告)

5 I A S クラスについて提案

1) 2 0 1 7 年 I A スーパークラスの登録枠について

現在 1 3 名登録しているがレベル差がありすぎ下位のライダーには危険とのため (観客も含め) 人数制限と昇格枠の再考が必要か提案された。

結論 (継続検討)

選手会より選手から意見を聞いた上で調査し、必要に応じて検討することとなった。

2) パドックのテント張りについて

現在会場も狭くテントの設営について主催者とトラブルが毎回出ている。

決定

次年度は、会場毎の管理体制で規制をお願いする事とした。

選手への啓蒙は、主催者と MFJ が行っていく

またお客サービスとして、営業等の兼ね合いもある主催者もいるが、お客様からみてかっこの良いきれいなピット造りを、メーカー様インポーター様をまとめて設定頂くことで了承された。
(できる主催者から実施頂く)

6、新 TR 集計ソフトについて

今回の製作の経緯について報告された。

MFJ のホームページより、無料ダウンロードされることが報告された。

主な変更事項

4 クラス→6 クラスまで設定可。

使用方法は以前とほぼ同等。

MFJ ホームページよりダウンロードできるので、地方選手権でも使用可能コマーシャル表示枠もある。

MFJ が販売する専用パンチカード使用を推奨とする。等

システムに関して不具合がある場合、速やかに MFJ まで連絡していただけるようお願いした。

7、オープントロフィークラス充実について

オープントロフィー (OT) については現在 I A ライダーを対象としているが、各地区で
の他クラス設定も OT として開催することも可。

(例) NA 等。OT は全日本併設承認クラスとし、賞典等は主催者で取り決める。

8、世界インターナショナルクラスについて

今年から採用されたクラス。旧ワイルドカード (GC 大会入賞者対象ルーキークラス)

開催国推薦で国内ライセンスでエントリー可能 (16 歳以上)。

ラインは 125 CUP を使用する。

FIM へ提案事項

開催国推薦枠：16 歳以上で参加する場合、国内ライセンスで出場可能。

この枠を利用して参加を呼び掛けることとする。

7 ビジョンについて (PR 関連)

1、2015 全日本 PR、お客様サービス報告について

事務局より各全日本主催者に調査させて頂いた、PR およびお客様サービスについて状況報告がなされ今後の PR 活動の検討材料とされた。

2、ビジョンについて

事務局より今年実施目標にしていた中期ビジョンの途中経過報告(重点項目)がなされた。

- ・重点項目であった全日本併催オープントロフィークラスが7戦中5戦で開催された。
- ・GCの継続開催。今年は広島灰塚ダムで開催。併催で年配、女性クラスが開催された。今後は併催クラスにもやる気のでる昇格等できるシステムを構築検討する。
- ・四国地区での TRGC の開催。2018年(予定)に向けて準備。
- ・MFJトライアルアカデミーが今年で9年目を迎え、幅広い層の愛好者に利用頂いている。今後は全国で同様なスクールを開催できないか要請した。
- ・また自転車からの TR 入門として、現在うまく実施している主催者に次年度は調査し検討することとなった。
- ・全日本の活性化については目標の参加台数はすべてクリアしたが、以前として高齢化が続いているため、今後は若手が増える施策を継続する。
- ・レディースクラス 2016年 全日本開催(有効ポイント制) 安全・普及を同時に考慮する。また来年は参加台数が安定して集まるよう、各地で女性の参加者に声替えをお願いしたい。またレディース選手会と協力し女性ライセンスホルダーにアンケートを実施予定。ニーズの調査を行うことが報告された。
- ・デナシオンについては MFJ 提案のコンセプトを継続検討。メーカー・インポーターと相談。
- ・PR 関連
 今年は MFJ 広報部会を通じてリリースを発信した。今後も広報部会と協力し PR 策を検討していく。
 2016年は BS12で全日本 TR 全戦放映(予定)
 東京・大阪 MC ショウもうまく活用して PR をはかる。
 ファンサービス:現状のファンサービスは継続して実施頂きたい。
 TR 委員会内部で PR、ファンサービスを検討する担当を決め TR プロモーション部会を立ち上げ
 今後広報部会との連携をはかる。
 来年第2戦近畿大会前のおよびメディアキャラバンをテスト的に実施予定。
 (地域充着型 PR 作戦の実施)
- ・安全対策:今年はけが人が多かったのでさらなる安全対策を継続検討
 レスキュー講習会の実施等。
- ・高齢化対策
 役員の高齢化の問題。各支部 TR 部会にて、役員の手育成をお願いしたい。

◆2016年の重点課題について

全日本の健全運営

PRの拡大 ※サイクルショー、地元の他競技大会・お祭りなどでPRする

レディースクラスの安定化

自転車 TR 育成調査。

オープントロフィークラスの更なる普及

8 その他について

1) 取材関係者のバイク保険について

場内でバイクを使用する取材者（プレス）の対人対物の保険設定をプレスより要望され、保険会社に設定頂いたご案内が提案され、今後バイクを使用するプレスは当保険を使用して頂くことで承認された。

2016年度は当該プレスの方々に当自動車保険を使用頂くよう案内するとともに当日はプレス受付の他に、保険加入の証明書を提示頂きさらに、誓約書を記入頂くこととなった。（各主催者）

2) スポーツ安全保険の改定について

65歳以上の規定が改訂されることが報告された。

3) 2015年度 MFJ トライアルアカデミー途中経過報告について

事務局より今年で9年目を迎えたトライアルアカデミーについて経過報告された。

◆開催期日 9月26日～2016年1月31日まで（計10日間開催）現在開催中

※12月12日のみツインリンクもてぎ開催

◆開催場所 茨城県 真壁トライアルランド

◆インストラクター 成田匠 野本佳章 / サブイントラ 守屋 篤（アカデミー卒業生）

◆参加者 ・年間参加者 12名（内 新規5名）・（内女性3名）

・1DAY参加者 21名（11月11日現在）